

減災のための避難施設用標準サインインフラシステム

The Creation of Standard Sign Templates for Evacuation Facilities and their Electronic Distribution System

*松岡 東香¹、高嶋 啓¹*Haruka Matsuoka¹, Kei TAKASHIMA¹

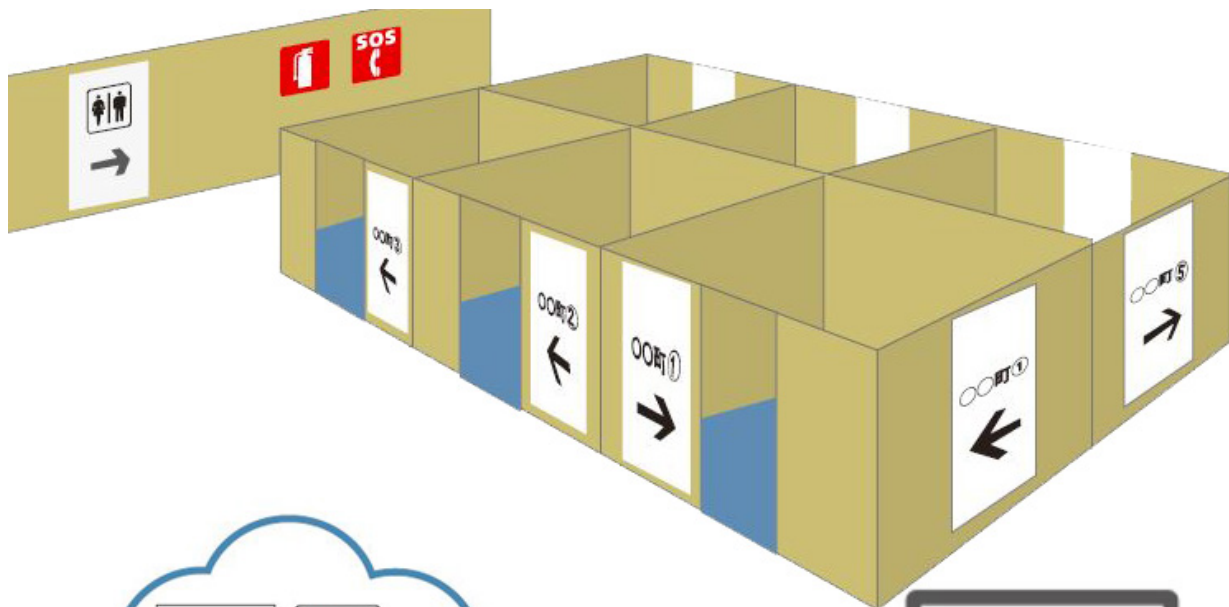
1.筑波学院大学情報経営情報学部経営情報学科

1.Department of Business and Informatics, Tsukuba Gakuin University

近年、日本では公共施設への避難を必要とする自然災害が頻発している。被災者を収容する避難施設は、単なる「衣食住の空間を提供する場」としての機能に加え、避難者の住環境変化に対する順応期間短縮への配慮や施設内での「迷い」の低減、さらには避難生活における心理的負担の軽減機能も備えることが望ましい。そこで、本研究では避難施設が備えるべきサインインフラとその配布システムの提案を行う。避難施設における標準サインインフラのイメージとその出力/配布システムを概念を下図に示す。その主な特徴は、(1)利便性・汎用性・収納性の高いクロスロール紙の使用、(2)視認性と心理的負担軽減を両立するサインの考案、(3)インフラのデジタル化とデータベース化による配布・整備までの工期短縮と低予算化に集約される。サインの作成にあたっては、施設の空間情報の分類、避難者の探索行動のモデル化、心理的負担軽減を念頭に置いた配色の検討が必要であると考えられる。また、避難施設への早期の配布や配備を実現するべく、サインインフラのデジタル化とデータベース化を行い、Web経由での配布の実現を目指す。さらに、地域や施設の実態に対する汎用性を高めるべく、ユーザーによる印字入力とファイル出力の仕組みを備えたシステムを提供する予定である。本大会では、タペストリー型サインの具体的なイメージや停電時の誘導サインについても報告する。

キーワード：サイン計画、避難施設、配布システム

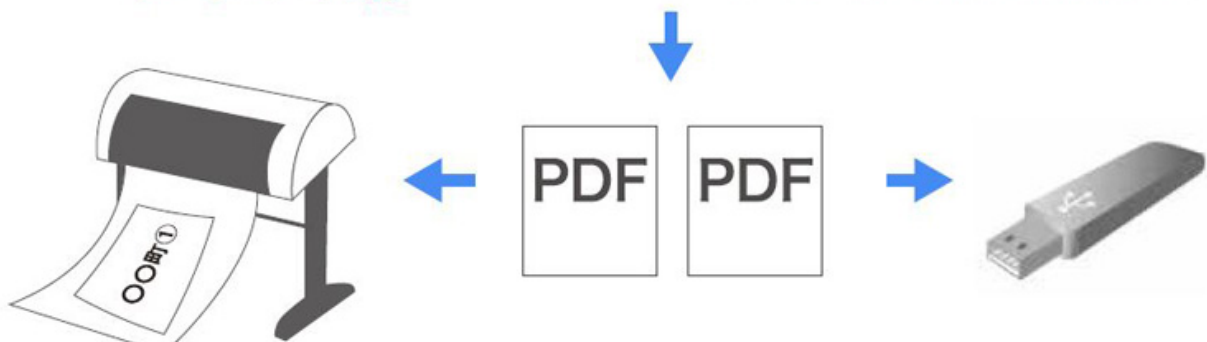
Keywords: sign system, evacuation facilities, electronic distribution system



サインインフラ テンプレート
データベース化



ブラウザによる印字情報の入力



サインインフラの印刷(常備)

サインのファイル化

ファイルの備蓄